

登米市のモノづくり集結

登米市のものづくりが一堂に。今年で8回目となる登米市産業フェスティバルが10月14日に迫体育館と中江中央公園を会場に開催、大勢の人たちでにぎわいました。「体感！登米市のモノづくり企業を知ろう」をテーマに市内でモノづくりに取り組む企業や高校、各種団体など32団体が出展したフェスティバルの様子を紹介します。(25、27ページ)



産業フェスティバルのシンボルともいえる村田製作所の一輪車ロボット「ムラタセイコちゃん」。みんなの注目を集めました

石越

まるごと、いしこしまつり



▲石越の食材をふんだんに使った1000人鍋

食と芸能、展示会を満喫

恒例となっている「まるごといしこしまつり」が10月28日、石越総合運動公園などを会場に開催されました。昨年同様「コミュニティ芸能祭」との合同開催。当日は悪天候にもかかわらず、市内外から約1500人が訪れました。金鶏太鼓や石越小学校吹奏楽部の演奏、コミュニティ芸能祭、秋の展示会などが催され、来場者は石越の秋を満喫しました。まつりのメインである石越牛の串焼きや地元食材をふんだんに使った「1000人鍋（いも煮汁）」のコーナーには多くの人が集まり、石越のおいしさを堪能していました。

ふるさとへの思い深める

関東に在住する南方町出身者で組織する関東地区南方町人会の平成24年度総会が、10月21日に東京都内の東天紅上野店で開催。当日は、南方町からの参加者を含め120人余りが出席しました。総会では提案された全ての議案が全会一致で承認され、会長には遠藤誠幸さん（須崎出身）が再任されました。総会後の懇親会では、カラオケやお楽しみ抽選会などが行われ、皆さん、時間が過ぎるのを忘れるほど大いに盛り上がりました。最後は、出席者全員で南方中学校の校歌を歌い、来年、元気に再会することを誓い、閉会となりました。

関東地区南方町人会が総会

南方



▲南方中学校の校歌を斉唱し来年の再会を誓いました

津山

3年ぶりとなる地区運動会



▲力自慢による白熱した戦いが繰り広げられました

競技も応援も力合わせて

第8回津山地区運動会が10月7日、柳津小学校校庭を会場に開催されました。雨天などにより中止が続き、3年ぶりの開催となった今年は、町内各行政区のほかに南三陸町仮設住宅の人も参加しての対抗戦で行われました。結果は、本町二丁目行政区と石貝行政区が同点優勝するなど接戦でした。トーナメント形式で行われた綱引きでは、各行政区の力自慢が出場。応援にも力が入る白熱した戦いを繰り広げました。最後は、参加者で校庭に大きな輪をつくり、登米音頭を踊って交流を深めるなど、大盛況のもと終了しました。